

滋賀大学経済学部後援会だより

発行／彦根市馬場一丁目1-1 滋賀大学経済学部後援会 発行責任者／土田一善

目次	
後援会会長挨拶	1
経済学部長挨拶	1
後援会総会・入学式・卒業式	2
課外活動 文サ連	3
課外活動 体育会	4
入試状況	6
就職状況	6
留学・語学研修	8
平成17年度決算	10
平成18年度予算	11
学年暦	12

勉学をサポート

後援会会長 土田一善

歴史ある滋賀大学経済学部後援会会長に任じられ3年(役員暦15年)が過ぎ、良き先輩や役員諸兄と事務局に支えられ、今日迄運営できていることに感謝しつつも、旧態依然とした平穩な運営を喜ぶのではなく、時代に応じた事業を求め、大学の改革に呼応して私達も役員会で協議の中から「後援会だより」を発行することにより、後援会の組織と任務を在校生と父兄の皆さんに認識して頂く、懸け橋となることを目的に、創刊号をお届け出来たことに、ご協力いただいた皆さんと共に、心よりお礼申し上げます。

さて、新入生と在校生の皆さんは、滋賀大学経済学部にご入学を、学業を通じて立派な社会人となり、日本国はもとより世界に羽ばたく資質を身につけたいと日夜勉学に苦心している筈であります。後援会の目的は、勉学を助け学校の教育研究を達成しようとする事業を援助することであり、限られた予算の配分を適切に行うと同時に、その価値の結果をチェックする義務を担っているのです。

ご家族の皆さんは、入学されたご子息の今後の将来を期待し、卒業と就職を待ち望んでおられることと思います。

後援会役員はこの「後援会だより」が、家族の皆さんとのコミュニケーションの橋渡しになることを願うものでありますと同時に、後援会運営に深いご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



福田学部長 土田会長 岩田副会長 吉田副会長

グローバル・スペシャリストの養成

経済学部長 福田敏浩

後援会の皆様には、平素、経済学部の教育に多大なご支援を賜り、誠に有難く存じております。紙面をお借りして厚くお礼申し上げます。私どもの経済学部は教育目的としてグローバル・スペシャリストの養成を掲げております。グローバル・スペシャリストとは、平たく言うと、「東京、上海、ニューヨーク、ロンドン、パリを股にかけて活躍する現代版近江商人」であります。江戸時代の近江商人は、「しなやかな商才と豊かな知識と」「三方よし」(売手によし、買手によし、世間によし)のビジネス倫理でもって商取引に従事し、進出した日本各地で高い信用と名声を獲得しました。近江商人のふるさとに立地する私どもの経済学部の使命は、そのような近江商人の精神にあやかっつて新入生諸君をしっかりと教育し、四年後には立派なグローバル・スペシャリストとして世に送り出すことにあります。教職員一同、心を一つにして、このような使命の達成に全力を傾ける所存でございます。皆様のなご一層のご支援をお願い致しまして私のご挨拶とさせていただきます。

○平成18年度後援会総会を開催しました

4月5日(水)入学式の終了後に開催し、多数の保護者が出席されました。土田後援会会長、福田経済学部長の挨拶、17年度後援会費決算報告、18年度予算審議、新委員の選出があり、続いて、学部から、学務関係事項の説明、学生関係事項の説明、就職状況の報告がありました。



○平成18年度入学式が挙行されました

4月5日(水)午前10時30分から、ひこね市文化プラザで入学式が挙行され、総計995名(うち留学生54名)の入学生が、希望に燃え、新しいスタートを切りました。

式典では、学歌独唱の後、入学学生代表の入学宣誓が行われ、続いて、

成瀬学長の告辞、教育学部同窓会会長からの祝辞、在学生代表(経済学部4回生 長尾祥平)から歓迎の辞が述べられ、最後に、来賓、本学役職員の紹介がありました。

平成18年度 入学者数一覧

教育学部	255名	
経済学部	605名	
大学院教育学研究科	67名	
大学院経済学研究科	博士前期課程	51名
	博士後期課程	6名
特殊教育特別専攻科	11名	
入学者合計	995名	



歓迎の辞を述べる長尾君

○平成17年度卒業式が挙行されました

3月24日(金)午前10時から、大津市のびわ湖ホールで卒業証書、学位記、修了証書授与式が挙行され、総計891名が実社会等に巣立ちました。

その後、彦根プリンスホテルで経済学部卒業祝賀会が開催され、卒業生の門出を祝いました。



○平成17年度滋賀大学大学院経済学研究科博士後期課程学位記授与式が挙行されました

3月17日(金)午後1時から、経済学部講堂で挙行されました。

平成15年4月に我が国で最初に社会科学系でリスクを中心とした大学院の専攻として設置された大学院経済学研究科博士後期課程経済経営リスク専攻が3年を過ぎ、彦根高商以来80余年の長い歴史の中で記念すべき最初の博士の学位が授与されました。

式典では、経済学部陵水会から寄贈されたアカデミックガウンに身を包んだ修了生4名ひとりひとりに学位記の授与が行われ、学長からの告辞が述べられました。

平成17年度
卒業生数一覧

教育学部	252名	
経済学部	531名	
大学院教育学研究科	64名	
大学院経済学研究科	博士前期課程	38名
	博士後期課程	4名
特殊教育特別専攻科	6名	
卒業生合計	895名	



アイセック滋賀大学委員会 (8名)

滋賀県立大学と一緒に活動しています。東大・京大など日本全国にアイセックがあり、国内だけではなく世界 91 カ国で活動する世界最大の団体です。主な活動は海外インターンシップの運営です。

軽音楽部 (45名)

基本的に部員同士でバンドを組み、バンドごとに時間を決めて練習をして、定期的に行われる発表会やライブで披露する、というのが主な活動です。昨年度は栗東さくらでのチャリティーライブ等も実施しています。



ESS (31名)

英語が出来る出来ないはこのクラブには関係なく、むしろ個性たっぷりてんこもりのメンバーと少しずつ学び、楽しさを共有し合えたら自然と身につけ楽しくなってきます。

劇団 ZERO (11名)

現在、滋賀県立大学の劇団と合同で活動しています。主な活動は皆でお芝居をつくることです。役者だけではなく、照明・音響・舞台美術・衣装・小道具・宣伝美術・ダンス振り付け・映像等もつくりあげていきます。

滋賀大学オーケストラ (36名)

部室ではクラシックだけではなく、色々な曲を皆が楽しみながら演奏しています。メインイベントは 11 月に行う定期演奏会です。1,000 人のお客さんの前での演奏は緊張しますが、終わった後は感動です。

鉄道研究会 (8名)

活動の一つに、機関誌「いぶき」の発行があります。ある研究テーマ(昨年の場合「びわこ栗東駅計画」)を決め、現地での取材、原稿執筆、編集・印刷・製本までを手がけ、大学祭などで発表しています。

囲碁将棋部 (9名)

活動時間は、将棋が火、金、囲碁が水曜日です。将棋は、東海地区の学生将棋大会で、囲碁では全国アマチュア団体囲碁選手権大会で A 級に昇給することを目標に日々努力しています。

茶道サークルうらせん (11名)

部員のほとんどが、大学から始めた人達で、稽古は毎週木曜日です。大学の直ぐ裏の北野寺で裏千家の先生に見て頂いています。活動日が少なめなので、兼部者がほとんどで、体育会の部活との兼部者も居ます。

写真部 (33名)

女子部員が多くて、とても華やかです。活動としては、個人活動として展示会に出展する作品の製作、卒業アルバム製作としての構内風景・クラブ活動・学校行事等の撮影等をおこなっています。

電子計算機クラブ (26名)

現在は CG 製作や web デザイン、Flash を用いたムービー製作などパソコンを用いた創作活動を中心に行っています。ソフト面・ハード面共に知識と技術の修得、向上を目指しています。

美術部 (5名)

ただ黙々と絵を書いているだけではなく、作品を創作するための道具は自分たちで考えて揃え、作品の披露についても、地域からの依頼からやりたいことを選んで決めたり、展示会を一から計画することもしております。

邦楽部 (14名)

琴、尺八、三味線を演奏しています。お正月の定番曲から CM ソング、アニメ、流行歌まで幅広く楽しんでいます。邦楽部最大のイベントは、経済学部講堂で行う 80 回を超える歴史を持った定期演奏会です。

ユースホステル部 (29名)

元々は、全国のユースホステルに泊まる旅行をすることが目的だったのですが、現在はユースに限らず、部員の計画による旅行やイベントの実施を行っています。楽しい時間を皆で共有することに重点を置いています。

**課外活動
文サ連**



今までの文サ、これからの文サ

第 38 代文化サークル連合委員長 平木 一 央

私達文化サークル連合(通称文サ連)の主な活動目的は所属及び加盟団体計 13 団体の活動支援です。具体的な方策として文化事業振興費の分配や学内特別援助金申請の支援等経済支援がほとんどです。これからの課題としては開学祭のように、学生全体に興味を喚起して各クラブの企画に情報宣伝効果をもたらせる支援を行い、支援の形に厚みを持たせることだと考えます。これからも頑張りたいと思いますので、何卒宜しくお願い致します。

合気道部 (41名)

合気道には試合がありません。一人ひとりの習熟度に合わせて技を繰り返し稽古し心身の練成を図ることを目的にしています。体格、年齢、性別問わず誰でもが取り組めます。

アメリカンフットボール部 (47名)

現在の活動状況は、若干の経験者と大多数の初心者で週5日、楽しくプレーしています。昨シーズンは部活史上初の2部リーグ挑戦でしたが、結果が残せず、今年度再び2部復帰を目指し練習に励んでいます。

ウインドサーフィン部 (20名)

経験者は0で大学に入ってから始めた者ばかりで、他大学でもそうであり、スタートラインは皆同じで、努力次第で全国で活躍できる実力をつけることが可能です。県立大学とともに松原水泳場で練習しています。

**課外活動
体育会**

体育会の活動

体育会委員長
百合草 啓之

現在、滋賀大学体育会系クラブは全部で26団体あります。そのクラブを統括しているのが私が委員長をさせていただいている体育会本部です。具体的な活動内容としては、運動会や駅伝大会などの行事の運営、また援助金などでクラブに資金援助をしています。

これらの活動を通じて、スポーツのすばらしさや体育会の存在を知ってもらい、滋賀大学を体育会からさらに盛り上げていきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

空手道部 (26名)

大学に入って初めて空手に触れたという人がほとんどで女子部員も多く所属しています。過去には全国国公立空手道選手権で優勝の実績を持つなど、確かな強さを兼ね備えた部活です。



弓道部 (66名)

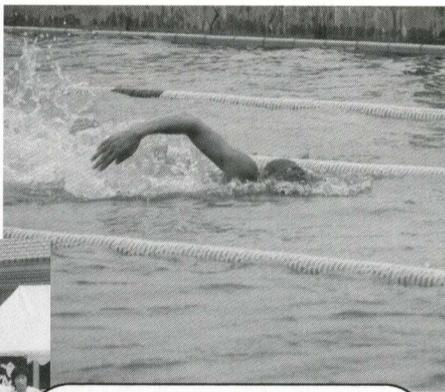
男女とも二部リーグ昇格に向けて毎日の練習に励み、縦のつながり、横のつながりを大事にしながら70年の伝統を受け継ぎ次へと続かせるために一人ひとりが努力しています。

剣道部 (24名)

滋賀大学のクラブとしては珍しい教育学部との混成チームで各公式戦に出場しています。目標は「全日本学生大会」への出場で、長い歴史を持つ剣道部の悲願でもあり、現役部員にとっての高い目標でもあります。

硬式庭球部 (32名)

関西リーグに所属しており、昨年は残念ながら一歩及ばず四部残留となってしまった。今年こそは三部昇格を成し遂げたいと思っている。対外戦には教育学部と一緒に出場しています。



硬式野球部 (41名)

活動は、授業優先を前提に、普段は平日午後1時から、休日は午前10時から3~4時間練習をしている。春になるとキャンプがあり、一週間ほど九州などの暖かい場所に行って練習もしています。



ゴルフ部 (30名)

ゴルフは最初はすごく難しいスポーツですが、上手になりたいという気持ちと、やる気さえあれば直ぐ上達するスポーツでもあります。週3回、さざなみゴルフ練習場で無料で練習させてもらっています。

サッカー部 (46名)

現在、関西学生リーグの三部で頑張っております。今年度は春リーグで二部に昇格し、秋リーグで二部残留という大きな目標に向かって日々頑張っております。練習は週に6日、1日2時間程度。

自動車部 (6名)

自動車部といえば車の整備?のイメージですが、違います。走ります。「より早く」「より楽しく」走ることです。そのためにチューニングをし、修理をするのです。その知識や技術が役に立つときがきます。

柔道部 (20名)

今柔道部は黄金時代真っ最中、昨年は滋賀大学43年目にして初めての近畿地区国立大学体育大会優勝という快挙を成し遂げ、皆で「勝つ」という面白さを味わった。連覇を目標に厳しい練習に励んでいます。

少林寺拳法部 (27名)

少林寺拳法の魅力のひとつに「体力が無くても無理なく続けられる。」という点があります。護身術を学ぶには最適な武道で、現に部員の半数近くが女子部員です。皆一年少して黒帯を取り、見違えるほど強くなります。

漕艇部 (37名)

昨年は全日本大学選手権(インカレ)で準優勝、関西学生秋季リーグでは優勝3連覇を達成しました。地方の大学の一学部がその名を全国に轟かすことができるのは、ボート以外には無いと言っても過言ではありません。

スキー部 (23名)

昨年度は男女とも昇格という快挙を成し遂げ、もっとも勢いのある部の一つです。現在アルペンチームと、ノルディックチームの2チームがあり、普段の練習は平日4回で、土日祝日は休みです。

水泳部 (17名)

1秒でも早く泳げるよう練習をおこなっています。練習はレベル・泳法別に個人のレベルに見合ったあった練習をおこなっております。自己記録を更新したときなどなんとも言えない喜びや感動があります。

卓球部 (27名)

他大学との定期戦や各種大会を初め、最大の目標としている関西学生リーグ戦が春・秋と年二回あります。リーグの前、期間中はクラブがもっとも盛り上がる時期であり、部員一丸となって昇格を目指し練習に励みます。

ソフトテニス部 (29名)

教育学部との合同チームで、土日になると、お互いがキャンパスを行き来し練習している。関西リーグ所属で、男女とも六部中五部Aに位置しており、リーグ昇格に向け練習しています。



バスケットボール部 (23名)

バスケットは今年、空前の大ブームが到来すると思います。世界大会が日本で開催されるからです。わが部の目標は2部昇格です。チーム皆で話し合いをして目標に向かいます、練習は週5日平日は90分。



バドミントン部 (42名)

30名を超える所属部員の中には大学から始めた初心者も多くいます。また男女比がほぼ一緒で、男女一緒に練習しています。男女とも関西リーグでの昇格を目標に練習をおこなっています。



バレーボール部 (29名)

現在東海リーグの二部に所属している。一昨年は四部であったが、その年の周期リーグで三部昇格、昨年の秋季リーグで二部昇格を果たした。一部昇格を目指し日々練習中。



ヨット部 (32名)

過去三度の全日本インカレ総合二位をはじめ数々の輝かしい実績がある。個人戦においても、全日本優勝や世界選手権上位入賞などもある。ここ数年インカレ予選敗退であるが、予選突破に向け日々練習しています。

ハンドボール部 (16名)

関西にありながら、東海リーグ三部に所属している。二部昇格を目標に日々頑張って練習に励んでいる。しかし人数不足は否めない状況である。初心者でも心配なく、努力すればレギュラーです。

ワンダーフォーゲル部 (18名)

練習は、山に登るための基礎体力をつけるため、ランニングを中心に筋トレをおこなっています。具体的活動は、主に二泊三日の登山合宿を春から秋にかけておこなっています。

陸上競技部 (11名)

クラブ員は少数であるが、日々競技力向上のため頑張っております。練習は週に六日間、日曜以外は毎日練習しており、数日間練習しないと体力が落ちてしまうため、部員全員毎日練習に取り組んでいます。

ラグビー部 (28名)

所属は関西Cリーグで昨年は6位でした。今年はこのリーグでいかに勝てるチームを作っていくか模索しつつリーグ優勝を目指し週6回約2時間の練習をおこなっています。

平成 18 年度 入学試験の状況

経済学部	定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
昼間主	500	(21) 3,594	(20) 2,395	(13) 694	(6) 529
夜間主	50	103	102	58	54
3年次編入学	20	113	109	33	20
計	570	3,810	2,606	785	603

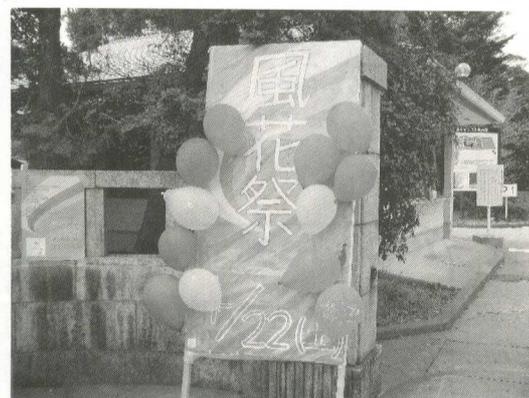
備考 () は私費外国人留学生を内数で示す。
国費外国人留学生を除く。

大学院経済学研究科	定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
博士前期課程	52	76	73	58	51
博士後期課程	6	8	6	6	6
計	58	84	79	64	57

備考 外国人留学生を含む。

経済学部 都道府県別入学者数 (昼間主・夜間主)

岩手県	1	福井県	16	兵庫県	49	愛媛県	1
宮城県	2	長野県	1	奈良県	13	高知県	2
秋田県	1	岐阜県	62	和歌山県	7	福岡県	2
茨城県	1	静岡県	5	鳥取県	6	佐賀県	1
群馬県	1	愛知県	83	島根県	7	大分県	2
埼玉県	1	三重県	28	岡山県	5	宮崎県	7
神奈川県	1	滋賀県	107	広島県	4	大 検	1
富山県	19	京都府	86	山口県	1		
石川県	9	大阪府	42	香川県	3	合 計	577



4月22日開学祭 (正門附近)

平成 17 年度 就職状況

主な就職先 (経済学部)

人 数	会 社 名 (順不同)
10名以上	【12名】(株)滋賀銀行 (株)京都銀行 【10名】(株)十六銀行
5名以上	【7名】京都信用金庫 【6名】みずほフィナンシャルグループ 【5名】(株)平和堂 (株)三井住友銀行
4名	トラスコ中山(株) (株)大垣共立銀行 日本生命保険相互会社
3名	大和ハウス工業(株) 住友電気工業(株) 古河オートモーティブパーツ(株) (株)松阪屋 (株)SFCG (株)紀陽銀行 大和証券(株) 日興コーディアル証券(株) 播州信用金庫 (株)びわこ銀行 (株)三菱東京UFJ銀行 ワタミ(株) 日本郵政公社 滋賀県警察
2名	コカ・コーラセントラルジャパン(株) 中外製薬(株) 石川島播磨重工業(株) 三菱重工(株) (株)日立製作所 富士通(株) 松下電工(株) 三菱電機(株) 京セラ(株) アイシン・エイ・ダブリュ(株) (株)デンソー (株)豊田自動織機 中部電力(株) (株)オービック トランスコスモス(株) (株)日本システムディベロップメント 東朋テクノロジー(株) イオンクレジットサービス(株) (株)伊予銀行 オリックス(株) (株)岐阜銀行 岐阜信用金庫 (株)静岡銀行 (株)泉州銀行 (株)中国銀行 中小企業金融金庫 (株)百五銀行 福井信用金庫 碧海信用金庫 (株)三重銀行 住友生命保険相互会社 (株)損害保険ジャパン 三井住友海上火災保険(株) (株)福屋工務店 (株)コムスン (株)NOVA (株)電通

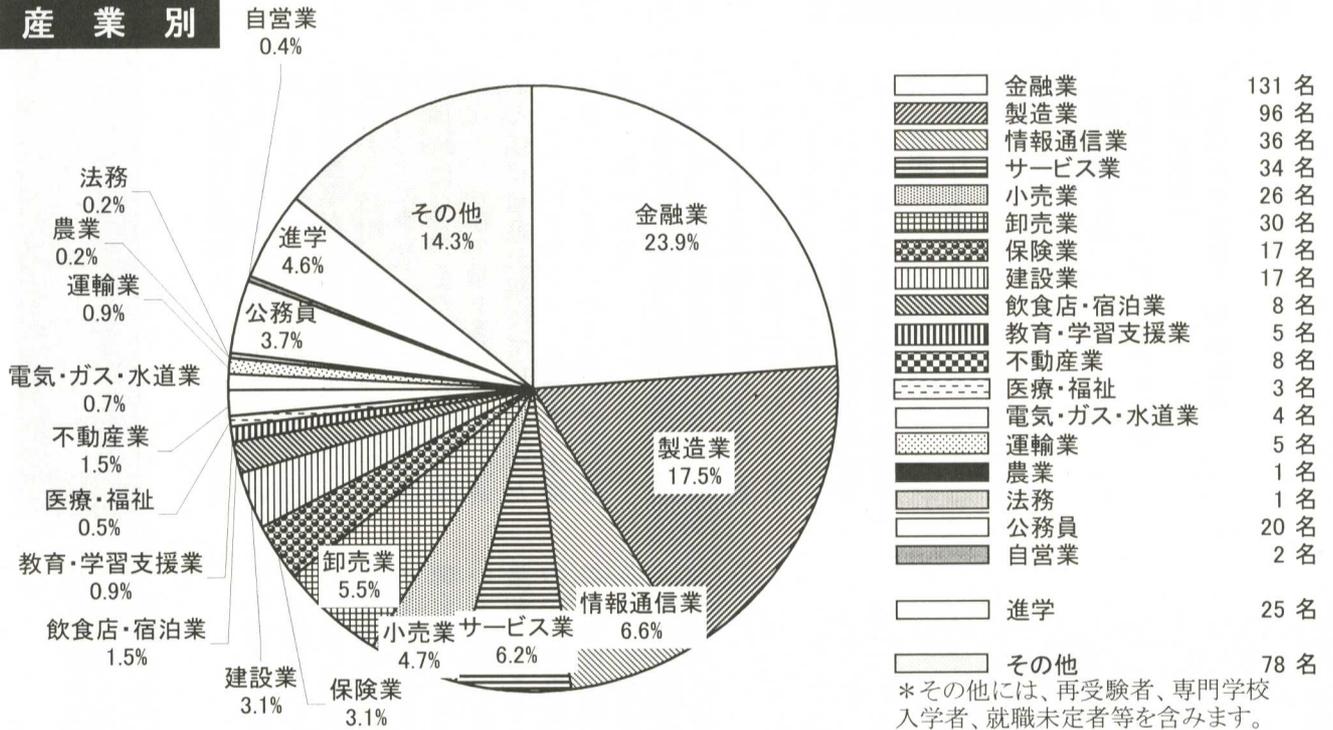
就職状況一覧 (経済学部)

平成 18 年 5 月 1 日現在

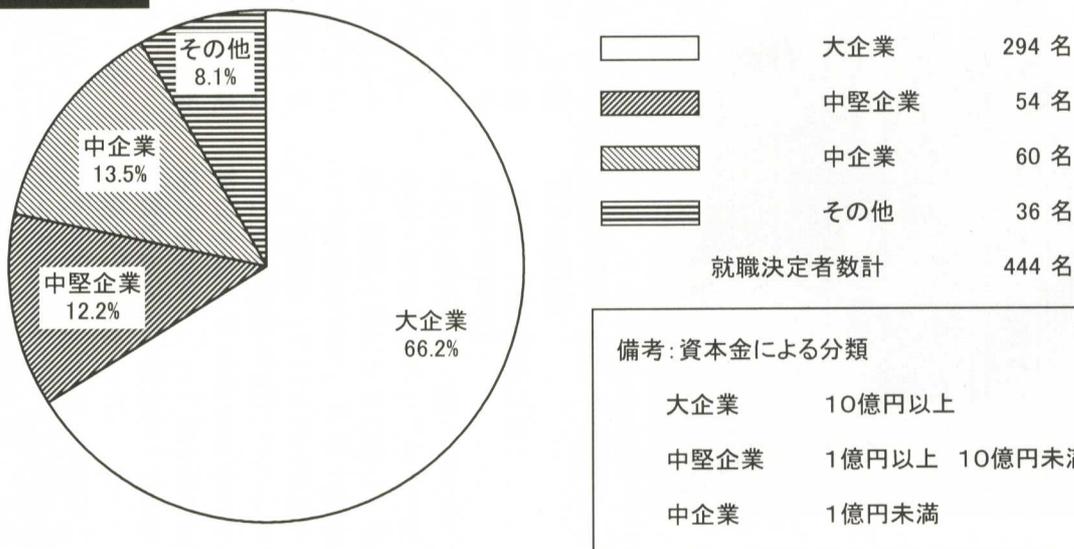
区分	卒業者数	大学院進学者数	就職希望者数 B	就職希望率 B/A(%)	就職決定者数				就職決定率 C/B(%)	就職未定者数	その他
					教員	官公庁	会社等	計 C			
男	385	15	334	86.8%	0	20	290	310	92.8%	24	36
女	162	10	141	87.0%	0	0	134	134	95.0%	7	11
計	547	25	475	86.8%	0	20	424	444	93.5%	31	47

平成 17 年 9 月卒業生を含む。

産業別



規模別



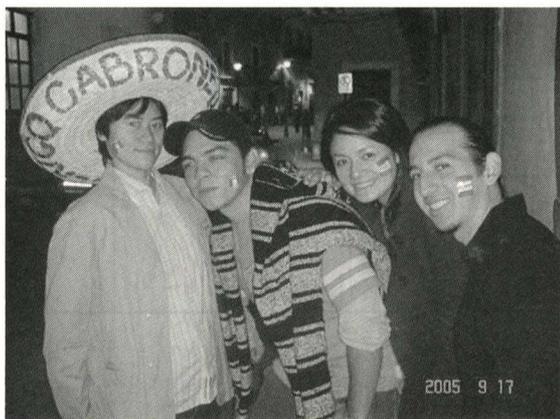
国際交流 交換派遣留学・語学研修

メキシコ、グアナフアトの大学生活について

ファイナンス学科

4回生 南 小夜子

こちらの大学生の一日は実に長い。授業は朝7時、まだ街中には灯りがともるほど暗いうちに始まる。大学生だけに限らず、6時を過ぎれば、道を歩く人も多く、バスにもたくさんの方が乗り込んでいる。メキシコでは昼食が午後3時以降にとられる事が多く、その時間まで小中高の学生は授業を終えるので、朝は早い。多くの大学生は、自分の専



9月15日 メキシコ独立記念日にて

攻の科目と同時に、語学も履修しており、語学学科は別キャンパスなので、2つのキャンパスを行き来する。最終の授業が終わるのが夜9時。キャンパスは町の中心から離れており、バスに乗り、家にたどり着くのは10時になる。そのうえ日本の大学に比べ、課題の量も多い。一日が終わる頃には疲れ果てているはずだが、ここはメキシコ、毎週火、木曜日はパーティで、バーやディスコは学生であふれる。

週末は各自の町へ帰り家族と過ごすので、週日はこのように一日中ぎっしり予定が組まれているが、彼らは決してせかせかしていない。予定はあくまで予定、その通りにいくはずがないというのが、学生だけでなくメキシコ人共通の認識のようだ。時間にルーズな面などイライラさせられる事もあるが、ゆっくりと色々な事に目を向けながら学べる環境は、大学生にとっては適しているのではないかと思う。

【派遣留学先】

メキシコ グアナフアト大学

【留学期間】

平成17年8月～18年5月

相互理解の大切さ

社会システム学科

4回生 宮田 歩

中国で一番感じたのは、相互理解の大切さでした。研修中に203高地に行く機会がありました。そこは日露戦争時にロシアの租借地であった旅順を日本が占領し、後に記念碑を建てた場所です。砲台が残っているとはいえ今は穏やかな様子で、最初はこちらで本場に戦争があったのかと不思議な感じがしました。丘の上には出店もあり、戦争跡地でありながら観光地にしてしまう中国人の強かさを感じました。特に空気が

も気候も違う中国の地で、当時の中国人が何を感じていただろうとぼんやり考えることは、日本には出来ない経験でした。

戦争では必ず被害者・加害者の関係があります。その相手国の受けた被害や当時の意識を知ることで相手の今の認識を感じるだけでなく、自国のしたことをより深く知ることが出来ます。中国へ行き、立場・意識の違いがある場合、相手を知る・自分を知るということが大切なのではないかと強く感じました。

【語学研修先】

中国 東北财经大学

【研修期間】

平成18年2月～3月



彦根高商修学旅行以来の二〇三高地にて



瀋陽故宮にて



大連京劇の主人公と

オーストラリアで学んだこと

社会システム学科

2回生 木村麻美

オーストラリアで学んだことは何かと聞かれたら、「英語が通じるという嬉しさ」と答えるだろうと思う。今年3月、短期の語学研修として1カ月間オーストラリアにあるホームステイし、メルボルンにある大学に通った。出発前に自分が想像していたことと違うこともいくつかあったが、本当に充実した時間を過ごすことができた。

私のホームステイ先は「外国人留学生の下宿屋や寮」といった感じで、「家庭や家族」に加わるというものはなかった。そのことにはじめは戸惑いや不満も感じたが、他の国から来ている人たちと一緒に住んだそのおかげで、私は韓国とマレーシアの子と仲良くなった。特に韓国の女の子とは夕食の後からシャワーを浴びるまでの3時間ほどの間、毎日英語でたくさんいろいろな話をした。日本や韓国の文化・国柄はもちろん、学校生活やショッピングなど普通の世間話もした。そのときに、自国の文化から生まれる考え方や価値観について話し合ったことを私はとてもよく覚えている。それは多大な時間と労力を要したが、辞書を引きながら何度も表現を変えながらの説明の結果、相手



同じホスト先の韓国の女の子とメルボルン動物園にて

がやっと自分の伝えたいことを理解してくれたときには本当に嬉しかった。

それまで英語は世界共通語となりつつあり、話せることが重要になってきているが、自分とは関係のないことだと思っていた。けれども実際に英語を用いて自分の考えを伝え、相手の考えを理解することがどれほど難しく大切で、そして面白いものだと私はそのとき初めて知った。仲良くなった2人の女の子は、私がホスト先を出る前の夜に小さな飲み会を開いてくれた。私は彼女たちとこうして知り合って友達になれたことをとても嬉しく思う。英語で自分の伝えたいことが伝わったときの嬉しさと最後の夜のお酒の味を、私はずっと忘れずにいた。

最近の主な留学先

ミシガン州立大学	アメリカ合衆国
ディーキン大学	オーストラリア
ラジャパット大学連合	タイ
チエンマイ大学	タイ
グアナファト大学	メキシコ
東北財経大学	中国



大学の教室内で撮ったクラスの集合写真

い。
【語学研修先】
オーストラリア・ディーキン大学
【研修期間】
平成18年3月

平成17年度決算および平成18年度予算について

幹事 三橋勝三 森地克彦

入学式後に開催いたしました後援会総会には、今年度も多数の皆様方のご出席をいただきありがとうございました。総会におきまして平成17年度決算および平成18年度予算案が承認されましたが、出席されなかった会員の皆様のために、ここに決算書と予算書を掲載させていただきます。

平成17年度 経済学部後援会予算収支報告書

収入

(単位：円)

科目	決算額	備考
前年度繰越額	2,881,074	
会費(学部新入生)	8,985,000	599人×@15,000円
会費(編入生)	142,500	19人×@7,500円
会費(大学院新入生)	240,000	32人×@7,500円
利息	73	
収入合計	12,248,647	

支出

(単位：円)

科目	予算額	支出額	過△不足額	備考
①厚生体育費補助	4,100,000	3,656,584	443,416	近国体運営費補助、大会出場者交通費補助等
②文化活動補助	2,000,000	1,811,915	188,085	開学祭、滋大祭補助等
③学生研究調査費補助	180,000	75,000	105,000	学生懸賞論文副賞
④学務関係補助	1,000,000	776,421	223,579	学務関係諸経費補助等
⑤就職補助費	550,000	550,000	0	就職関係費用補助
⑥団体分担金	300,000	48,210	251,790	会費、学会開催経費補助
⑦研究所等補助	900,000	900,000	0	資料購入・運営費等補助
⑧入学式・卒業式等経費	700,000	430,414	269,586	入学式・総会経費、卒業式経費補助
⑨渉外費	920,000	613,003	306,997	学部事業補助経費、慶弔費等
⑩総務費	40,000	18,539	21,461	通信費、切手代等
⑪外国人留学生後援会援助費	50,000	50,000	0	留学生後援会援助金
⑫会議準備費	0	0	0	
⑬宿舍積立金	0	0	0	
⑭予備費	1,508,647	0	1,508,647	
支出合計	12,248,647	8,930,086	3,318,561	

平成17年度 図書充実費収支計算書

収入

(単位：円)

科目	決算額	備考
前年度繰越額	201,600	
会費(学部新入生)	599,000	599人×@1,000円
会費(編入生)	9,500	19人×@500円
会費(大学院新入生)	16,000	32人×@500円
利息	6	
収入合計	826,106	

支出

(単位：円)

科目	支出額	備考
図書購入費等	582,219	
次年度繰越額	243,887	
収出合計	826,106	

平成17年度 体育充実費収支計算書

収入

(単位：円)

科目	決算額	備考
前年度繰越額	80,260	
会費(学部新入生)	599,000	599人×@1,000円
会費(編入生)	9,500	19人×@500円
会費(大学院新入生)	16,000	32人×@500円
利息	3	
収入合計	704,763	

支出

(単位：円)

科目	支出額	備考
近国体分担金	200,000	
ゴルフ教室実習補助	135,000	
スキー教室経費	44,830	
正課体育用品購入費	152,355	
次年度繰越額	172,578	
収出合計	704,763	

平成 18 年度 経済学部後援会予算

収入

(単位：円)

科目	決算額	備考
前年度繰越額	3,318,561	
会費(学部新入生)	8,565,000	571人×@15,000円
会費(編入生)	150,000	20人×@7,500円
会費(大学院新入生)	270,000	36人×@7,500円
利息	75	
収入合計	12,303,636	

支出

(単位：円)

科目	予算額	備考
①厚生体育費補助	3,800,000	近国体運営費補助、大会出場者交通費補助等
②文化活動補助	1,900,000	開学祭、滋大祭等補助等
③学生研究調査費補助	180,000	学生懸賞論文副賞
④学務関係補助	1,100,000	学務関係諸経費補助等
⑤就職補助費	550,000	就職関係経費補助
⑥団体分担金	300,000	会費、学会開催経費補助等
⑦研究所等補助	900,000	資料購入・運営費等補助
⑧入学式・卒業式等経費	700,000	入学式・総会経費、卒業式経費補助
⑨広報費	300,000	広報関係経費
⑩渉外費	920,000	学部事業補助経費、慶弔費等
⑪総務費	40,000	通信費、切手代等
⑫外国人留学生後援会援助費	50,000	留学生後援会援助金
⑬会議準備費	0	
⑭宿舍積立金	0	
⑮予備費	1,563,636	
支出合計	12,303,636	

平成 18 年度 図書充実費予算

収入

(単位：円)

支出

(単位：円)

科目	決算額	備考
前年度繰越額	243,887	
会費(学部新入生)	571,000	571人×@1,000円
会費(編入生)	10,000	20人×@500円
会費(大学院新入生)	18,000	36人×@500円
利息	6	
収入合計	842,893	

科目	支出額	備考
図書購入費等	600,000	
繰越予定額	242,893	
収出合計	842,893	

平成 18 年度 体育充実費予算

収入

(単位：円)

支出

(単位：円)

科目	決算額	備考
前年度繰越額	172,578	
会費(学部新入生)	571,000	571人×@1,000円
会費(編入生)	10,000	20人×@500円
会費(大学院新入生)	18,000	36人×@500円
利息	4	
収入合計	771,582	

科目	支出額	備考
近国体分担金	200,000	
体育実習補助	200,000	
正課体育用品購入費	200,000	
繰越予定額	171,582	
収出合計	771,582	

平成 18 年度後援会役員名簿

会長	土田 一 善	委員	中村 康 夫	委員	伊藤 久 司
副会長	岩田 守 弘	委員	山口 健 作	委員	田井中 安 朗
副会長	吉田 創	委員	立木 潤 一	委員	戸田 茂
幹事	三橋 勝 三	委員	深尾 一 郎	委員	小林 隆 典
幹事	森地 克 彦	委員	嶋林 正 清	委員	矢田 稔
監事	鹿谷 晃	委員	福永 雅 幸	委員	小河原 啓 介
監事	草川 喬 夫	委員	一ノ宮 富 造	委員	土坂 等
委員	北村 勘治郎				

平成18年度 学年暦・主要な行事(予定)

月・日(曜)	行 事
4/5(水) 6(木)・7(金) 6(木)~24(月) 7(金) 10(月)・11(火) 10(月) 22(土)	入学式(於:ひこね市文化プラザ) 新生オリエンテーション 就職ガイダンス(1回生、編入生) 健康診断(2~4回生) 成績配布 健康診断(1回生) 春学期授業開始 風花祭
5/11(木) 23(火) 31(水)	新生歓迎マラソン 学生総会、体育会総会、文サ連総会 開学記念日(授業実施)
6/3(土) 17(土)・18(日) 21(水) 23(金) 24(土)・25(日) 29(木)	学長賞表彰式 第41回滋和二大学学長杯争奪総合定期戦 (於:滋賀大学) 成績優秀者表彰式 就職説明会(キックオフ宣言・3回生) フレッシュマンキャンプ(於:希望ヶ丘) キャンパス・クリーンアップ
7/6(木) 8(土)・15(土) 21(金) 22(土)~8/4(金)	後期分授業料免除説明会 補講日 春学期授業終了 春学期試験(予備日含む。)
8/3(木)~24(木) 5(土) 5(土)~9/30(土) 7(月) 21(月)~3(日) 28(月)~9/24(日)	近畿地区国立大学体育大会 オープンキャンパス 夏季休業(集中講義) 第1回就職ガイダンス(3回生) タイ・エコスタディー・ツアー ミシガン州立大学夏期語学研修
9/28(木) 29(金) 29(金)	TOEFL-ITP試験(1回生全員) 専門コース制説明会 成績配布
10/2(月)	秋学期授業開始 第2回就職ガイダンス(3回生) 就職ガイダンス(2回生) 公務員ガイダンス(1~3回生) 国家公務員採用試験説明会(1~3回生) 国税専門官採用試験説明会(1~3回生) 自衛隊職員採用試験説明会(1~3回生) 就職基礎講座(3回生)
10/~12/	
11/1(水)~5(日)	大学祭 第28回陵水懇話会(3回生)
11/~12/	業界セミナー(3回生)
12/9(土)・10(日) 23(土)~1/4(木)	リーダーズ・トレーニング 就職内定者による後輩指導(3回生) 冬季休業(集中講義)
12/~1/	会計人会による説明会・懇談会(1~3回生)
1/5(金) 13(土)・27(土) 19(金) 29(月) 30(火)~2/13(火)	授業再開 補講日 次年度前期分授業料免除説明会 休講(センター試験準備) 秋学期授業終了 秋学期試験(予備日含む。)
2/	OB就職セミナー(企業説明会・3回生) 中国・東北財経大学中国語研修
3/ 23(金)	オーストラリア・スタディー・ツアー 卒業式(於:ひこね市文化プラザ)

- ・変更される場合があります。
- ・配布された案内、掲示板等で確認してください。

大学・彦根駅間専用バス運行開始

片道 100円

学生の通学の利便性や交通安全の確保の観点から、大学・彦根駅間の大学専用バスの運行を開始しました。

○平日の午前8時から午後9時まで合計39便。

○土・日・祝日、学休日は運休となりますが、集中講義期間、特別な行事等には運行することがあります。掲示板で確認してください。



彦根駅専用5番乗り場



史料館前 構内バス乗り場

編集後記

7月8日に湖国の代表的な花火大会のトップを切って高宮町の大会が開かれました。8月1日の彦根市の花火大会の頃にこの創刊号をお届けすることとなりました。

この後援会だよりは末永く継続し、内容を充実していきたいと思っております。
(T・M)